

平成16年3月期 第1四半期業績の概況(個別)

平成15年8月8日

上場会社名 東和メックス株式会社 (コード番号: 6775 東証第二部)
(URL <http://www.towa-meccs.co.jp>)
代表者 代表取締役社長 堀江 義光
問合せ先責任者 経理部長 佐藤 武雄 (TEL. 03 - 5684 - 2321)

当社は連結財務諸表を作成すべき会社であります。企業集団レベルでの四半期開示体制を現在整備中であり、当第1四半期におきましては単体ベースで開示しております。

1. 四半期決算の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無

2. 平成16年3月期第1四半期業績の概況(平成15年4月1日~平成15年6月30日)

(1) 売上高 (注) 百万円未満は切り捨てて表示しております。

	百万円	%
16年3月期第1四半期	1,625	12.2
15年3月期第1四半期	1,851	
(参考) 15年3月期	6,912	

(注) 1.パーセント表示は、前年同四半期比増減率を示しております。

2.平成15年3月期第1四半期の売上高についての開示は行っておりませんが、当第1四半期と同様の方法により算出したものであります。

[売上高に関する補足説明]

当第1四半期におけるわが国経済は、一部に景気に明るい兆しが見られるものの、雇用環境に改善は見られず、個人消費も引き続き低迷を続けるなど、景気回復には程遠く大変厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、当社の第1四半期の業績は、メカトロニクス事業において国内向け売上は広告機器について継続して新製品を投入いたしましたが、個人消費の低迷や民間設備投資抑制の影響もあり伸び悩みました。また、海外向け売上についてもアジア地区におけるSARSの影響や独・仏を中心とした欧州景気の低迷により前年同期比ほぼ横ばいと当初予想を若干下回り、メカトロニクス全体売上高は15億18百万円となりました。不動産事業においては、テナントビルの賃貸収入を主として展開しており、売上高は1億6百万円と当初予想通りとなりました。この結果、第1四半期の売上高は16億25百万円となり、年初計画に沿ってほぼ推移しております。

第2四半期以降においても、わが国経済は依然デフレスパイラルから脱却できず、個人

消費の低迷と相俟って厳しい環境が続くことが予想されますが、当社としては「お客様のニーズ・ウオツに役立つ商品、サービスの開発」「価格以上に価値ある商品の提供」という提案営業力の充実を図るとともに環境に配慮した生産体制の構築を進め、高付加価値の新製品の投入と「組み込みLinuxSHボード」の本格的な展開等により年初計画の達成に邁進してまいります。

- (2) 当該四半期において財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象
該当事項はありません。

3. 平成 16 年 3 月期の業績予想（平成 15 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日）

当該四半期の売上高は、概ね当初予想通りに推移しております。従いまして、中間期及び通期の業績についても当初予想（平成 15 年 5 月 16 日公表）通りであります。

上記予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上